

# 富海ホタルだより

第25号 令和3年11月22日  
『富海をホタルの里にする会』  
事務局 富海公民館  
TEL 34-0001

平成9年7月に『富海をホタルの里にする会』が発足して、今年で25年目を迎えました。平成14年からは会員の手によって地元のホタルを繁殖させ放流する活動を始め、現在では毎年富海地区内の新川・鮎児川にたくさんのホタルが幻想的な光を放ちながら飛び交い、私たちの目を楽しませてくれるようになりました。

今年は5月26日に新川と鮎児川で、繁殖のためホタルの成虫を捕獲しました。例年よりも体長が小さく、捕獲できた数も少なかったのですが、6月末までに孵化した幼虫の数は12,000匹を超えました。幼虫を富海公民館敷地内のホタル小屋で約4か月飼育した後、富海小学校3・4年生の皆さんと共に、10月28日に脇地区の新川に放流しました。このホタルたちはこれから川の中で冬を越し、来年4月末から5月にかけて富海の夜を彩ってくれることでしょう。新型コロナウイルスの影響で2年連続中止となった「富海ホタルまつり」ですが、来年こそは開催できることを切に願っております。



新川沿いの木の葉にとまったオスのホタル。  
動きがゆっくりで、素手で簡単に捕獲できた。



餌のカワニナを食べに行く幼虫。放流直前の様子で、体長2cmまで大きくなっている。



飼育水槽から放流用のトレイに幼虫を移す様子を、興味津々で覗き込む子どもたち。



「元気に育ってね！」夏の再会を楽しみに、ホタルの幼虫約2,000匹を新川へ放流。